



2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月28日

上場会社名 フロイント産業株式会社
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年6月28日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 伏島 巖
 (氏名) 白鳥 則生
 TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	2,878	△40.6	△214	—	△217	—	△158	—
2019年2月期第1四半期	4,849	8.4	399	3.0	478	20.3	347	26.6

(注)包括利益 2020年2月期第1四半期 △192百万円 (—%) 2019年2月期第1四半期 366百万円 (52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	△9.44	—
2019年2月期第1四半期	20.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第1四半期	17,227	12,723	73.9	759.85
2019年2月期	17,448	13,250	75.9	791.34

(参考)自己資本 2020年2月期第1四半期 12,723百万円 2019年2月期 13,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△4.9	1,000	△18.2	1,000	△24.6	700	△17.0	41.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ(3)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年2月期1Q	18,400,000 株	2019年2月期	18,400,000 株
2020年2月期1Q	1,655,480 株	2019年2月期	1,655,478 株
2020年2月期1Q	16,744,520 株	2019年2月期1Q	17,048,870 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国向けを中心とした輸出や生産の落ち込みが製造業の企業収益を下押ししたものの、底堅い内需を背景とした非製造業の企業収益や、雇用・所得環境は堅調を維持し、景気を下支えました。

また、世界経済は、米国の保護主義的な通商政策により中国との緊張感が続いており、欧州では英国のEU離脱を巡り、予断を許さない状況に陥っています。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの対応を迫られております。

こうした情勢のもと、当社グループは、第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)の3年目を迎え、後半は計画達成のための施策を強力に推進しております。

当期(2019年3月1日～2020年2月29日)の具体的な課題として、

- ① アジア諸国(インド・中国)、米国および南米諸国、欧州での営業態勢強化
- ② グローバル戦略製品の開発、グローバルサプライチェーンの構築
- ③ 医薬品添加剤の生産増強に向けた新工場の建設
- ④ オープンイノベーションをベースとした産学との連携強化
- ⑤ 技術交流などを通じた人材育成

などに取り組み、将来の業容拡大に向けた経営基盤を整備しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は28億78百万円(前年同期比40.6%減)、営業損失は2億14百万円(前年同期は3億99百万円の営業利益)、経常損失は2億17百万円(前年同期は4億78百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億58百万円(前年同期は3億47百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、フロイント・ターボ社、FREUND-VECTOR社ともに事業拡大を目論む先行投資により赤字幅は拡大し、セグメント損失計上を余儀なくされました。

この結果、売上高は13億86百万円(同59.6%減)、セグメント損失は2億67百万円(前年同期は2億78百万円のセグメント利益)となりました。

一時的に大幅な減収となりましたが、受注は堅調に推移しており、受注残高は積み上がっております。

・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内のみならず海外からの需要増加に支えられて伸長し、更に勢いを増しております。この状況に対処するため、浜松事業所内に新工場建設プロジェクトを立ち上げました。

また、食品品質保持剤は、海外市場の開拓にも取り組むなど積極的な営業展開を図りましたが、競争激化のなか、売上高、営業利益ともに減少となりました。

この結果、売上高は14億91百万円(同5.3%増)、セグメント利益は1億87百万円(同27.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。なお、前連結会計年度末の総資産額及び負債の合計は、それぞれ17百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億20百万円減少し、172億27百万円となりました。増減の主な要因は、電子記録債権が1億37百万円、仕掛品が7億79百万円、繰延税金資産が51百万円増加したものの、現金及び預金が9億27百万円、受取手形及び売掛金が4億30百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円増加し、45億4百万円となりました。増減の主な要因は、電子記録債務が2億17百万円、前受金が5億77百万円、賞与引当金が99百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が3億43百万円、未払法人税等が1億32百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億27百万円減少し、127億23百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が4億92百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2019年4月9日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,534,431	4,607,087
受取手形及び売掛金	4,172,348	3,741,572
電子記録債権	160,222	297,447
商品及び製品	414,397	426,622
仕掛品	1,053,685	1,833,125
原材料及び貯蔵品	1,007,294	1,048,643
前払費用	138,074	142,728
その他	239,599	253,559
貸倒引当金	△8,869	△8,748
流動資産合計	12,711,184	12,342,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,162,954	1,144,664
土地	1,239,674	1,239,395
その他（純額）	1,366,441	1,473,669
有形固定資産合計	3,769,070	3,857,729
無形固定資産		
その他	16,349	17,930
無形固定資産合計	16,349	17,930
投資その他の資産		
繰延税金資産	160,556	211,867
その他	796,334	803,433
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	951,491	1,009,901
固定資産合計	4,736,911	4,885,561
資産合計	17,448,096	17,227,600
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587,769	1,244,367
電子記録債務	582,051	799,227
未払法人税等	151,746	19,608
前受金	666,802	1,244,489
賞与引当金	212,735	312,570
役員賞与引当金	30,000	8,250
その他	707,653	631,224
流動負債合計	3,938,759	4,259,737
固定負債		
退職給付に係る負債	162,460	164,862
資産除去債務	35,131	35,170
その他	61,092	44,476
固定負債合計	258,685	244,509
負債合計	4,197,445	4,504,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,918,177	11,425,241
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,469,928	12,976,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,459	29,541
為替換算調整勘定	△265,653	△293,813
退職給付に係る調整累計額	10,917	10,633
その他の包括利益累計額合計	△219,276	△253,639
純資産合計	13,250,651	12,723,353
負債純資産合計	17,448,096	17,227,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	4,849,505	2,878,390
売上原価	3,245,489	1,830,603
売上総利益	1,604,016	1,047,786
販売費及び一般管理費	1,204,967	1,262,594
営業利益又は営業損失(△)	399,048	△214,808
営業外収益		
受取利息	1,092	2,190
受取配当金	60,795	4,783
受取技術料	1,965	1,219
為替差益	1,556	—
その他	14,775	3,170
営業外収益合計	80,185	11,364
営業外費用		
支払利息	321	3,091
為替差損	—	5,675
その他	264	5,145
営業外費用合計	586	13,913
経常利益又は経常損失(△)	478,647	△217,357
特別利益		
固定資産売却益	—	8,180
投資有価証券償還益	23,874	—
特別利益合計	23,874	8,180
特別損失		
減損損失	—	95
固定資産除却損	2,184	7
投資有価証券評価損	—	825
特別損失合計	2,184	927
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	500,337	△210,104
法人税等	153,021	△52,065
四半期純利益又は四半期純損失(△)	347,315	△158,038
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	347,315	△158,038

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	347,315	△158,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,362	△5,917
為替換算調整勘定	24,787	△28,160
退職給付に係る調整額	658	△284
その他の包括利益合計	19,083	△34,362
四半期包括利益	366,399	△192,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,399	△192,401

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,433,095	1,416,410	4,849,505	—	4,849,505
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,433,095	1,416,410	4,849,505	—	4,849,505
セグメント利益	278,123	259,741	537,864	△138,816	399,048

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△138,816円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位:千円)

日本	北米	中南米	欧州	その他	計
4,076,223	250,317	39,672	89,115	394,177	4,849,505

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 北米 ……米国、カナダ

(2) 中南米 ……ブラジル等

(3) 欧州 ……フランス、英国等

(4) その他 ……アジア等

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成部品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,386,636	1,491,753	2,878,390	—	2,878,390
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,386,636	1,491,753	2,878,390	—	2,878,390
セグメント利益又は損失(△)	△267,263	187,563	△79,700	△135,107	△214,808

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,107千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「機械」セグメントにおいて、固定資産に係る減損損失95千円を計上しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位:千円)

日本	北米	中南米	欧州	その他	計
2,348,108	241,518	67,280	108,437	113,045	2,878,390

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	2,553,941	70.5	2,583,632	101.2
化成品部門	127,578	152.6	197,001	154.4
合計	2,681,520	72.3	2,780,633	103.7

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	4,928,840	54.5	6,657,884	135.1
化成品部門	94,731	100.0	134,661	142.2
合計	5,023,572	55.0	6,792,546	135.2

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	3,433,095	70.8	1,386,636	48.2
化成品部門	1,416,410	29.2	1,491,753	51.8
合計	4,849,505	100.0	2,878,390	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。